

神奈川県における両立支援の取組状況

地域両立支援推進チームの会議開催

日 時： 平成 29 年 8 月 22 日

構成員： 21 機関

神奈川県 保健福祉局保健医療部、保健福祉局福祉部

(地独) 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター

横浜市 医療局疾病対策部、健康福祉局高齢健康福祉部

(独) 労働者健康安全機構

関東労災病院、横浜労災病院、神奈川産業保健総合支援センター

(公社) 神奈川県医師会 産業医部会

(学) 東海大学 医学部

(独) 高齢・障害・求職者支援機構 神奈川支部 神奈川障害者職業センター

(公社) 神奈川県社会福祉士会

(一社) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会

NPO法人看護職キャリアサポート

神奈川県社会保険労務士会

(一社) 日本産業カウンセラー協会 神奈川支部

(公社) 神奈川労務安全衛生協会 労働福祉部

神奈川労働局 職業安定部、横浜公共職業安定所、雇用環境・均等部、労働基準部

取組状況

○神奈川労働局 神奈川産業保健総合支援センター

事業者、人事労務担当者向けのセミナー

平成 30 年 2 月 14 日 13 時～17 時 15 分

場所：横浜第二合同庁舎 1 F 共用第 1 会議室

「事業場における治療と仕事の両立支援対策促進セミナー」

事業場における治療と職業生活の両立支援対策促進セミナー

病氣と仕事一働き続けるために～企業と患者へのメッセージ

開催のご案内

事業場における治療と職業生活の両立支援促進に向けた厚生労働省・ガイドラインが平成28年2月に公表(「がんに関する留意事項」を含む)され、平成29年3月には「肝疾患に関する留意事項」、「脳卒中に関する留意事項」が加えて公表されました。平成29年3月に公表された「働き方改革実行計画」でも「病氣の治療と仕事の両立」対策は重要な柱として位置付けられています。

近年、医療の進歩により「不治」とされてきた疾病も「治療を続けながら長くつきあう病氣」に変わりつつありますが、病氣を抱える労働者の中には、まだなお、仕事の都合で適切な治療が受けられなかったり、職場の理解や支援体制の不足で仕事が続けられなくなるケースも多く、病氣を抱える労働者の雇用管理に悩んでおられる事業場も多数認められます。

治療と職業生活の両立支援の取組には、労働者の健康確保だけでなく、安心感やモチベーションの向上による労働者の定着と生産性の向上、健康経営やダイバーシティの推進による組織や事業の活性化、企業の社会的責任(CSR)やワーク・ライフ・バランスの実現という重要な意義があります。

この度、両立を支援する諸機関・団体のしくみや、両立支援の取組を進めている企業・事業場の実例を紹介しながら、両立支援対策の重要性に対する理解と企業・事業場での取組の促進に向け、著名な先生方からの御講演をいただくセミナーを開催することといたしました。

事業主、事業場の労務管理・安全衛生管理担当者、産業医や産業看護職などの産業保健関係業務従事者等を含め、多数の皆様が奮ってご参加くださるよう、お願い申し上げます。

1. 日 時 平成30年2月14日(水) 13:00～ (17:00頃終了予定)

2. 場 所 横浜第2合同庁舎 1F 共用第1会議室
(横浜市中区北仲通5-57)

3. 参加費 無 料

4. 対 象 事業主、労務管理・安全衛生管理担当者、
産業保健関係業務従事者など
(定員:120名)



5. 講演の内容

(1) (仮)治療と職業生活の両立支援対策の現状と課題について

順天堂大学 医学部 公衆衛生学講座

准教授

医師・医学博士

遠藤 源 樹 氏

(2) 治療と職業生活の両立支援のしくみを有する機関・団体からの説明と事例発表

① (仮)がん患者の治療と職業生活両立支援について

(地産)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 緩和ケア・患者支援部

患者支援センター 相談支援担当科

○神奈川県労働局

「事業場における治療と仕事の職業生活の両立支援について」

http://kanagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/hourei_seido/kensinkyokagekkan.html